

令和6年度 第4回千葉県建築審査会議事録

1. 会議の日時及び場所

日時：令和6年11月13日（水）午後2時から午後4時まで

場所：千葉市中央区長洲1-8-1 ホテルプラザ菜の花4階「楨1」

2. 出席した委員の氏名

上野武委員、小板橋恵美子委員、芦谷典子委員、子安正宏委員、前島彩子委員、姉崎真人委員

3. 議事の案件名及び結果

(1) 同意案件（公開）

- ・建築基準法第43条第2項第2号の規定による許可1件が同意された。

案件番号	案件名	敷地の所在	建築物の用途	結果
1	建築基準法第43条第2項第2号の規定による許可の同意について	鴨川市	一戸建ての住宅	同意

(2) 審査請求について（千葉県情報公開条例第8条に該当するため非公開）

- ・審査請求について審議を行った。

4. 議事の経過（公開審議）

(1) 同意案件

○案件第1号

建築基準法第43条第2項第2号の規定による許可の同意について（鴨川市）

事務局から案件の説明が行われ、以下の質疑応答の後、同意された。

- 委員・・・漁村区域における許可基準の策定主体がどこで、いつから運用開始しているか。
- 事務局・・・許可基準は平成11年5月から開始し、策定主体は県となる。
- 委員・・・他の市町村も同様の許可基準を策定しているのか。
- 事務局・・・鴨川市のみとなる。
- 委員・・・他に漁村区域はないのか。その場合の建替等はどうしているか
- 事務局・・・銚子市や旭市などもある。2項道路での接道や通常の許可基準を適用し、個別に判断している場合がある。
- 委員・・・他の許可済の箇所も車が通れないような通路なのか。
- 事務局・・・同様の箇所もある。4m拡幅予定の路線ではすれ違い可能な箇所はある。
- 委員・・・許可対象の地域への周知はどうしているか。
- 事務局・・・市の広報での周知や市狭あい道路整備事業について、事前に説明していると聞いている。
- 委員・・・統一的な基準で運用することは良いこと。建築物の防火性能も高められている。
- 委員・・・隣接地等、他の箇所は建替等がない限り、セットバックされないか。

- 事務局・・・他の箇所はそれぞれの増改築等の際にセットバックすることとなる。
- 委員・・・側溝があるようだが、そのままか。高齢化が進んでおり避難等はどうか。
- 事務局・・・側溝はそのままとなる。津波浸水想定区域図では1.0m未満の浸水想定区域にあるが、避難所まで徒歩で200m程度のため、車での避難は想定されていない。
- 委員・・・従来はそこまでの認識がなかったとして、今後この路線は狭あい道路整備事業により拡幅、整備されていく、という認識でよいか。
- 事務局・・・当該路線沿いにおいて直近で建替があった平成10年当時はそこまでの認識はなかったが、平成11年の許可基準策定以降は災害時の安全確保を目的として、拡幅していく認識である。